



競技を通してふれあう参加者

親子がふれあう楽しい時間

子育て親子運動会に 77組 200人が参加

体を動かして親子がふれあう子育て親子運動会が6月30日、養父体育館で開催されました。

これは、子どもの成長を見守りながらゆとりを持った子育てを行うことを目的に、市内4公民館が実施する「家庭教育講座」（年7回開催予定）の一つとして行われたものです。

この日は、市内の親子77組200人が参加。赤チームと黄チー

ムに分かれて、障害物リレーや玉入れ、はばタンダンスなど趣向を凝らした競技を楽しみました。

楽しい競技を通して親子がふれあい、親は子どもの成長を実感するとともに、子育てに関する情報交換の場としても有意義な1日となったようです。



まつりを盛り上げたプラスバンド演奏

会場にぎわう「ほたるまつり」

ホタルの里創造協会が環境大臣表彰受ける

第20回ほたるまつりが6月11日から18日までの間、奥米地ほたるの館前で Rowe 行われました。

昨年の台風災害の影響で、例年よりほたるの飛び交う数が少なかったようですが、ホタル観賞はもちろん、歌謡ショーやカラオケ大会、養父小学校のプラスバンド演奏など多彩なステージイベントが行われ、家族連れなど多くの方でにぎわいました。

また、奥米地の住民の方でつくる「ホタルの里創造協会」（古堂喜明会長）が、環境省の地域環境保全功労団体として大臣表彰を受けました。これは、ホタルの生息する米地川沿いの公園管理やホタルの餌・カワニナを放すなどの活動が認められ表彰されたものです。

明石市との交流が本格スタート 「時のウィーク2005」に参加

6月10日の「時の記念日」に合わせて、同日から1週間にわたって「時のウィーク2005」が明石市で開催されました。

今年5月の養父市と明石市との交流協定調印を受けて、明石市民への周知と養父市の観光PRなどを目的に、6月12日に養父市からも交流イベントに参加しました。

兵庫交流物産展に出席した養父市のテントでは、観光協会会員のみなさんが、有機米や手づくり味噌などの特産品販売やイベント紹介などで養父市の魅力をPR。ステージでは「ぎ・かあちゃんず」による迫力満点のよさこい踊りが披露されました。

また、2市の交流協定を記念して養父市木「ブナ」を明石市に贈呈し、同市の石ヶ谷公園に植樹を行いました。



会場内で養父市の特産品を販売